



山口県内の経済情勢

令和4年7月27日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 工藤

TEL：(083)922-2190(代)

HP掲載先：

[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)




山口財務事務所の
ホームページ

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	




（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。






（判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直している	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある	持ち直しつつある	

設備投資	3年度は前年度を下回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じる	「下降」超幅は縮小	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

家電大型専門店販売では、パソコンなど、ホームセンター販売では、DIY 用具・素材などで需要に落ち着きが見られることから、前年を下回っている。また、乗用車販売では、半導体不足などの影響により納期が遅延していることから、前年を下回っている。一方で、コンビニエンスストア販売、ドラッグストア販売、百貨店・スーパー販売では、内食・中食需要が高まり、飲食料品などが堅調なことから、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 電気代の値上がりを受けて省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫が好調。一方で、巣ごもりやオリンピック需要の一服から、パソコンやテレビの売上が落ち込んでいる。(家電大型専門店)
- 引き続き半導体不足などによる自動車メーカーの減産を受けて納期が拡大しており、新車の登録台数が落ち込んでいるものの、受注は例年並みであり新車需要は底堅い。(自動車販売店)
- まん延防止等重点措置の解除後は人流が増加し、大型連休を中心に客足が回復。気温の上昇もあり、飲料やアイスクリームなどの売上が伸びている。(コンビニエンスストア)
- 野菜や水産など、一部では価格高騰を受けて売上が落ち込む商品もあるが、巣ごもり疲れにより、手軽に調理できる惣菜や冷凍食品などが引き続き好調で、中食需要は強い。(スーパー)
- 「県民割」の利用範囲拡大を受けて、他県からの宿泊者も増加しており、5月・6月の宿泊者数はコロナ前の水準まで回復している。(宿泊)

■ 生産活動 「一部に供給面での制約の影響が見られるものの、持ち直している」

輸送機械は、自動車で、需要は底堅いものの、半導体など部品不足の影響により、生産水準は低下している。窯業・土石は、セメントで、国内向けの需要に弱さがみられるものの、海外向けの需要が堅調であることから、おおむね横ばいとなっている。鉄鋼は、一部の需要に弱さがみられるものの、産業用機械向けや建材向けなどの需要が堅調であることから、おおむね横ばいとなっている。化学は、樹脂原料などの需要が堅調であることから、高めの操業を維持している。このように、生産活動は、一部に供給面での制約の影響が見られるものの、全体では持ち直している。

- 新型コロナウイルスの感染拡大に加え、世界的な半導体不足、上海のロックダウンによる部品調達難の影響もあり、車を生産しづらい状況となっており、やむなく工場の操業停止期間を設けている。(輸送機械)
- まん延防止等重点措置の解除もあり、セメントにおいて、首都圏の再開発案件向けが伸びているものの、国内全体で見れば低調。このため、需要が堅調な東南アジアなど海外向けの輸出を増やすことで、生産量を維持している。(窯業・土石)
- 産業用機械向けや建材向けなど幅広い用途で需要が堅調であり、部品調達難で減産している自動車向けの落ち込みをカバーできている。足下における原材料や電力価格の高騰に対しては、コストアップ分を製品価格へ転嫁できている。(鉄鋼)
- 自動車メーカーによる減産の影響から、自動車向けが減少しているものの、需要の強い半導体向けや海外のインフラ向けのほか、安定したニーズのある生活関連向けの樹脂原料などが堅調であることから、今後もフル生産が続く見込みである。円安が進む中、輸出製品も多いため利益が出ている一方で、ナフサなどの原料を海外から輸入しているため、一概に追い風とは言えない。(化学)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率が上昇しているほか、新規求人数も増加するなど、雇用情勢は、持ち直しつつある。

- スマホや環境対応車などで半導体需要が高まるなか、半導体関連向けの製品の引き合いが強まっており、人手不足感が増している。(金属)
- 各種需要喚起策もあって旅行需要が回復しており、予約が大幅に増加している。各店舗では休日を中心に人手が足りない。(旅行代理店)

■ 設備投資 「4年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、石油・石炭などで減少するものの、化学、窯業・土石などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、小売などで減少するものの、運輸・郵便、電気・ガス・水道などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 自家発電設備の一部を石炭燃焼からバイオマス混焼にするなど、今後数年かけて脱炭素に向けた設備投資を行っていく予定である。(化学)
- 半導体材料の需要が好調であるため、生産能力の増強投資を行っている。(窯業・土石)
- ペーパーレス化やネットワークの更改など、生産性の向上を目的としたDX関連の設備投資を実施予定。(学術研究、専門・技術サービス)

■ 企業収益 「4年度は減益見込み」

- 製造業では、情報通信機械などで増益となるものの、窯業・土石、石油・石炭などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで減益となるものの、小売、鉱業・採石などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅は縮小」

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

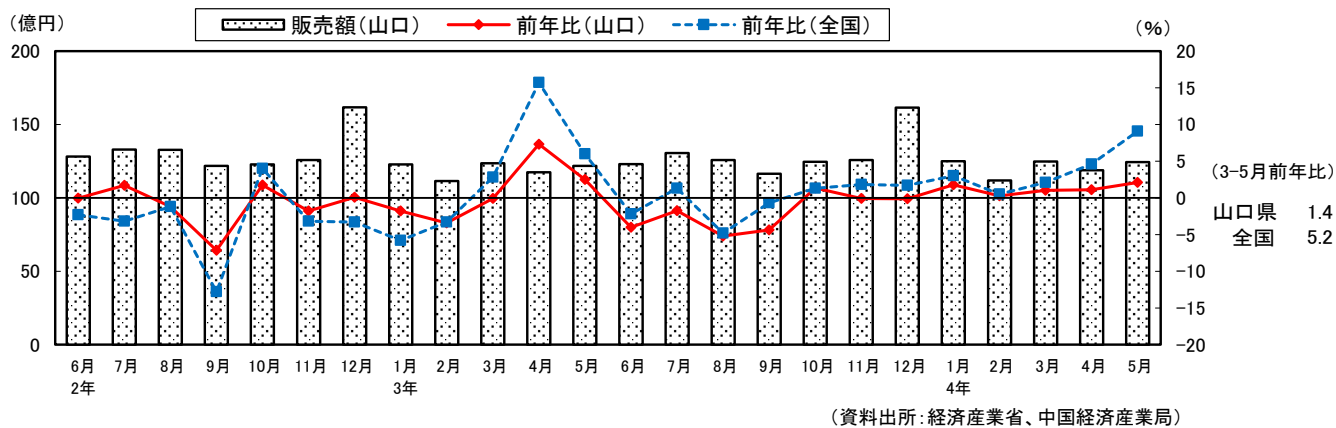
- 輸出（円ベース）は、石油製品、化学製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。
なお、輸入（円ベース）は、石炭、原油及び粗油などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

資料編

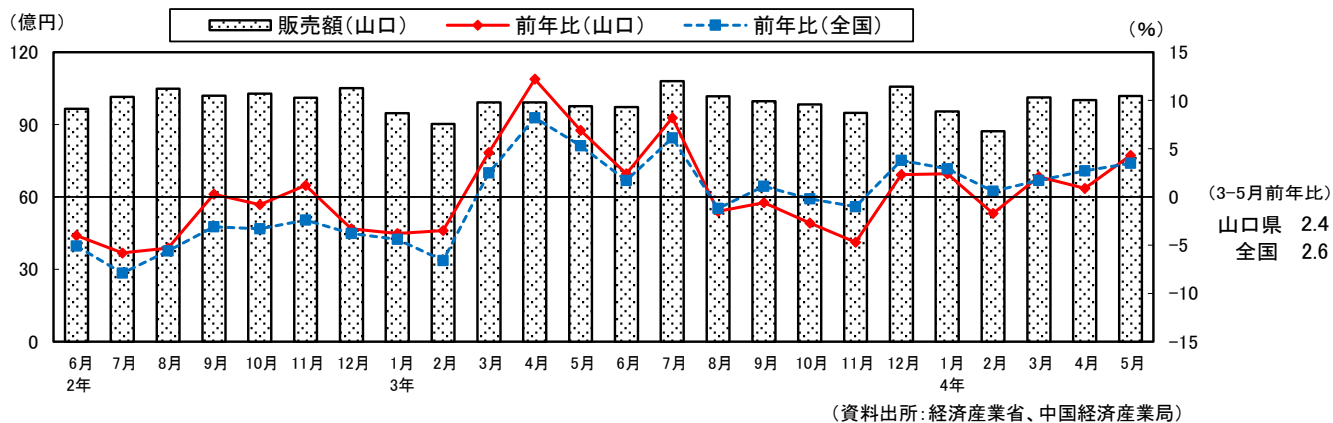
目次	ページ
1. 個人消費	1～2
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

1. 個人消費 緩やかに持ち直している

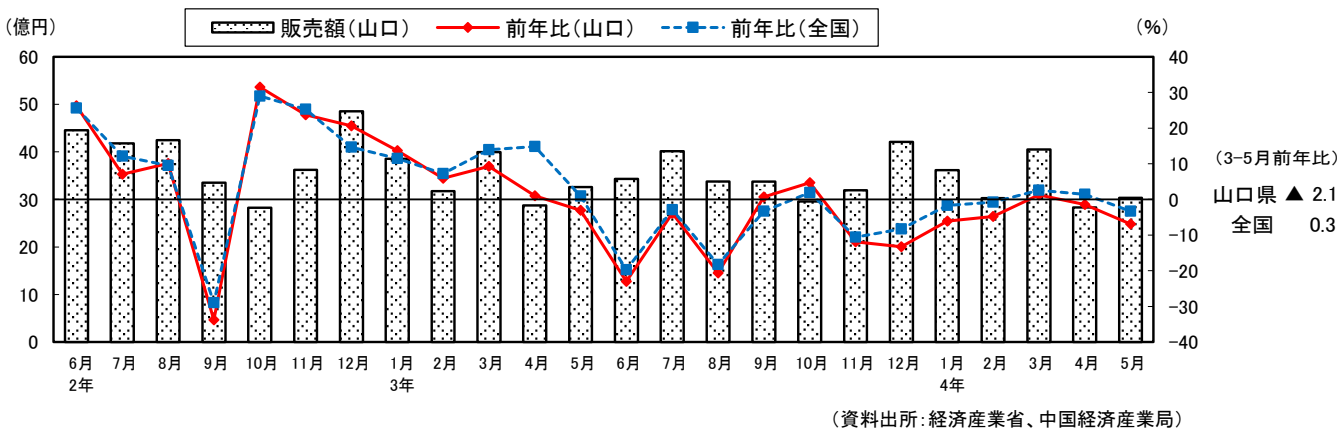
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



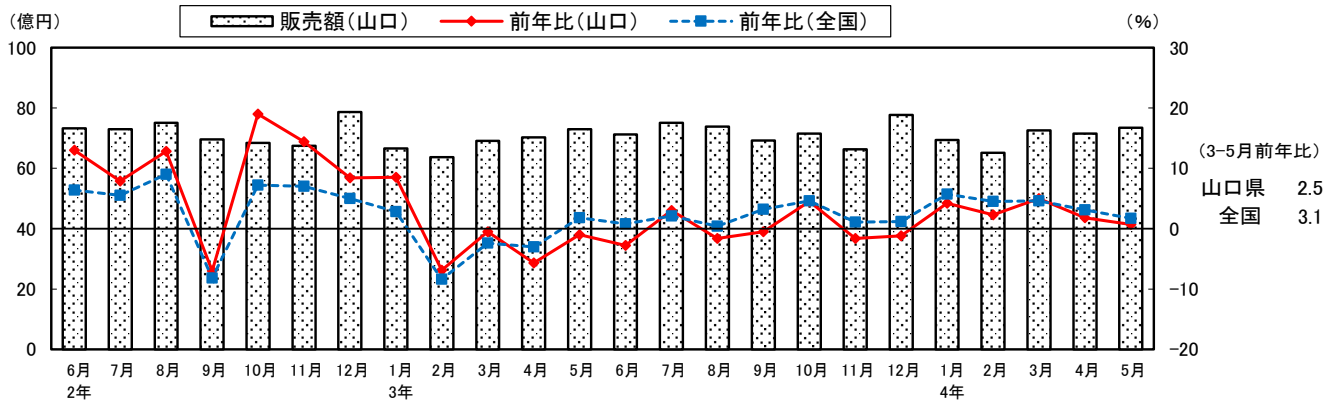
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

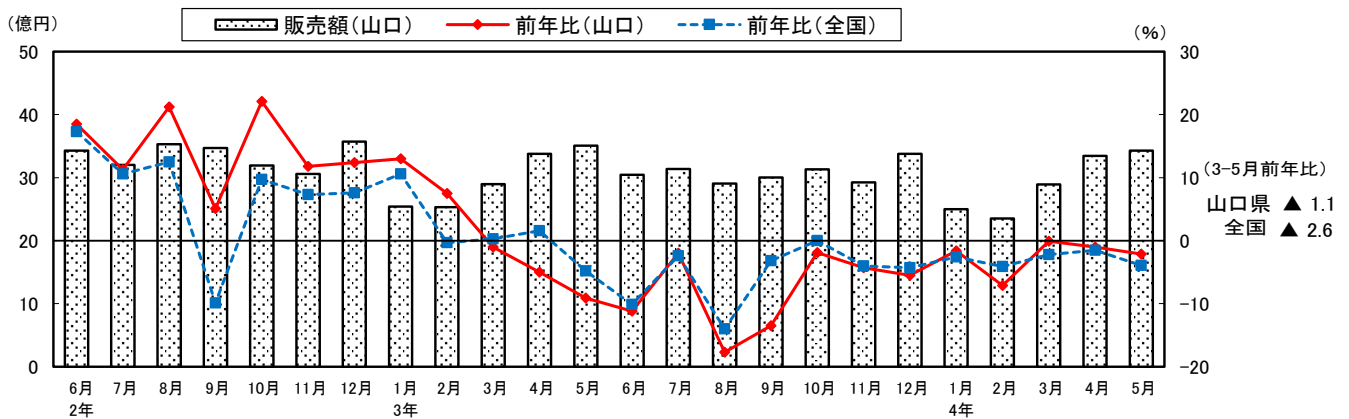


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



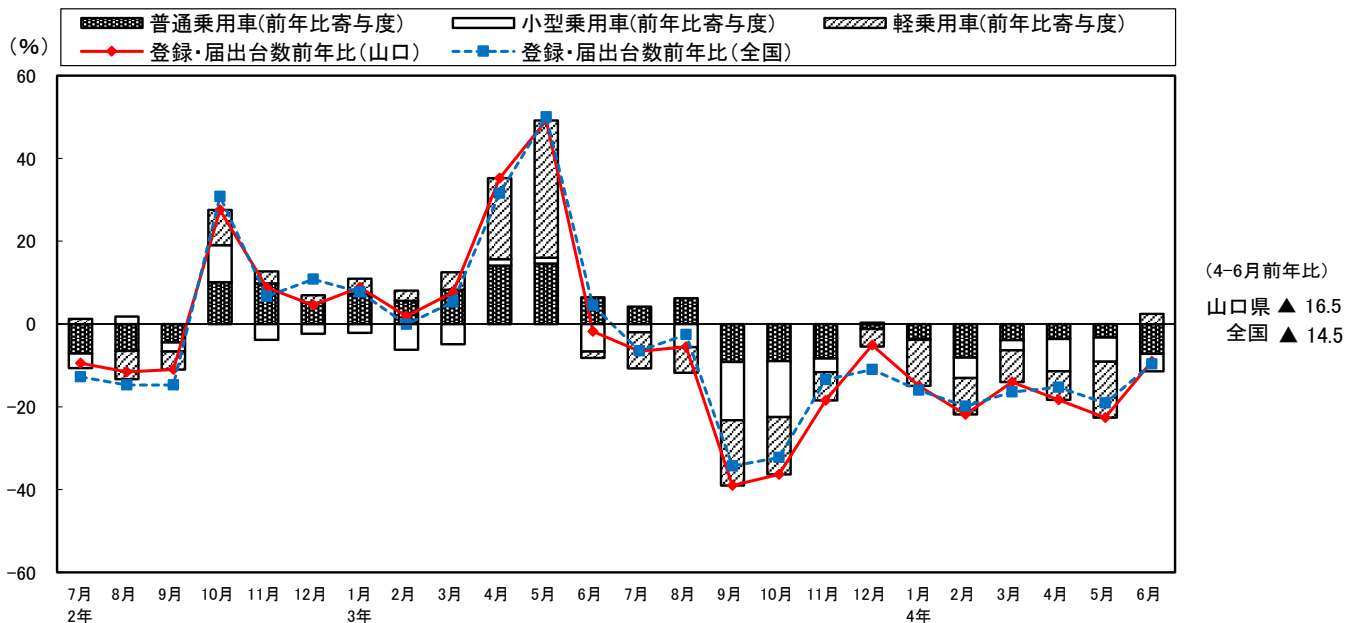
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

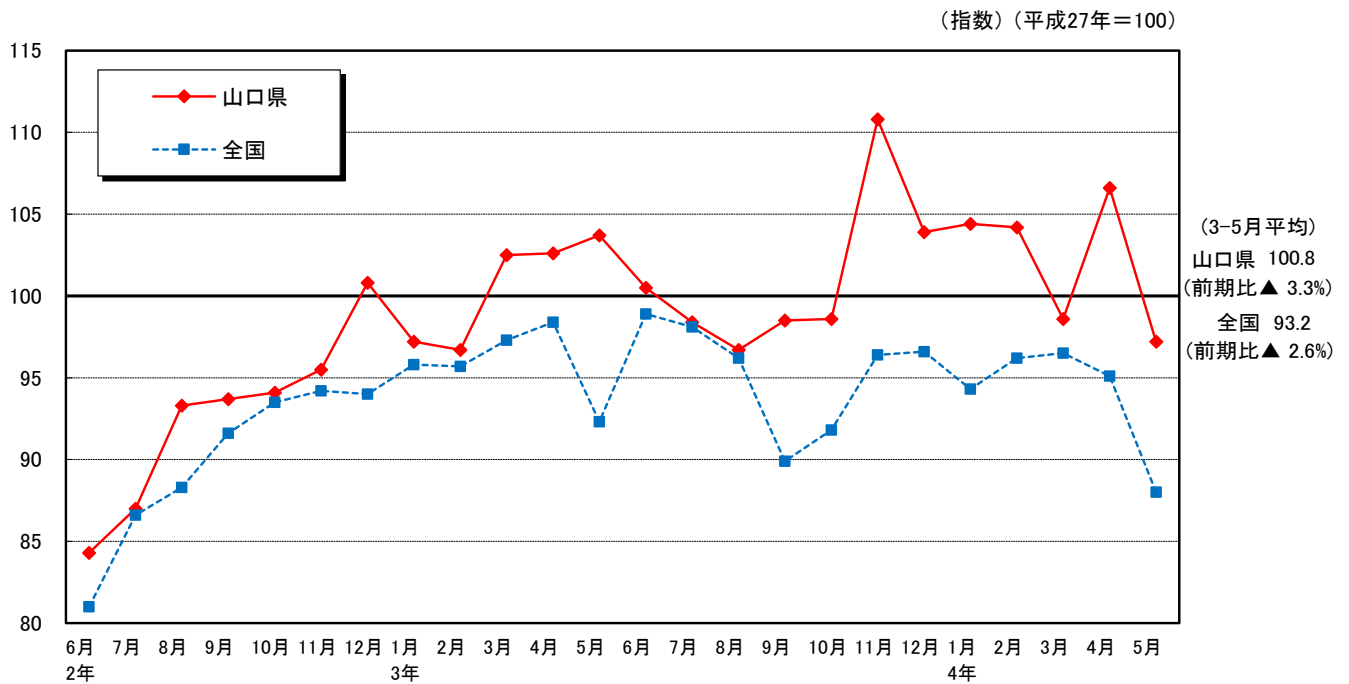
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局)

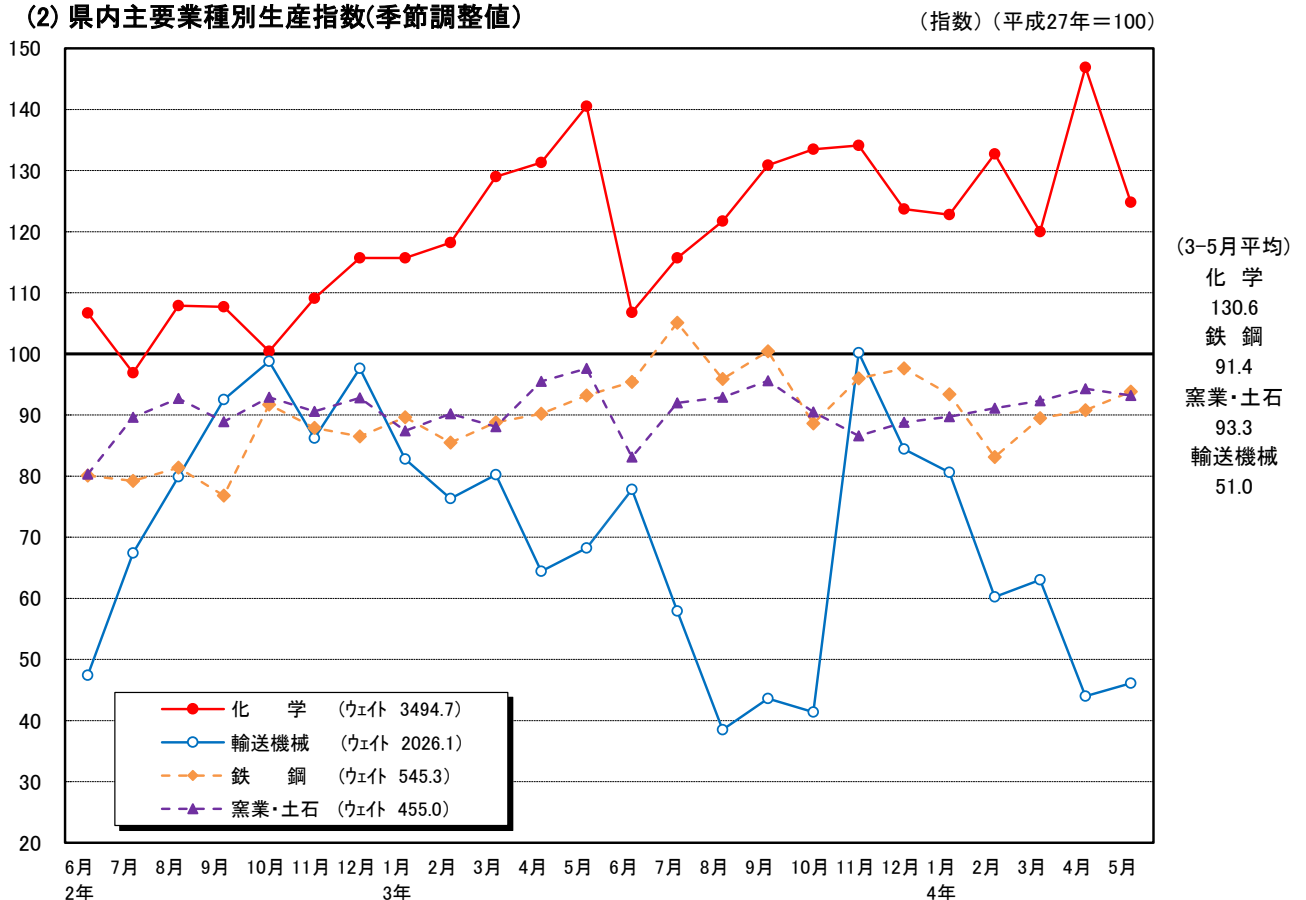
2. 生産活動 一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所: 経済産業省、山口県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



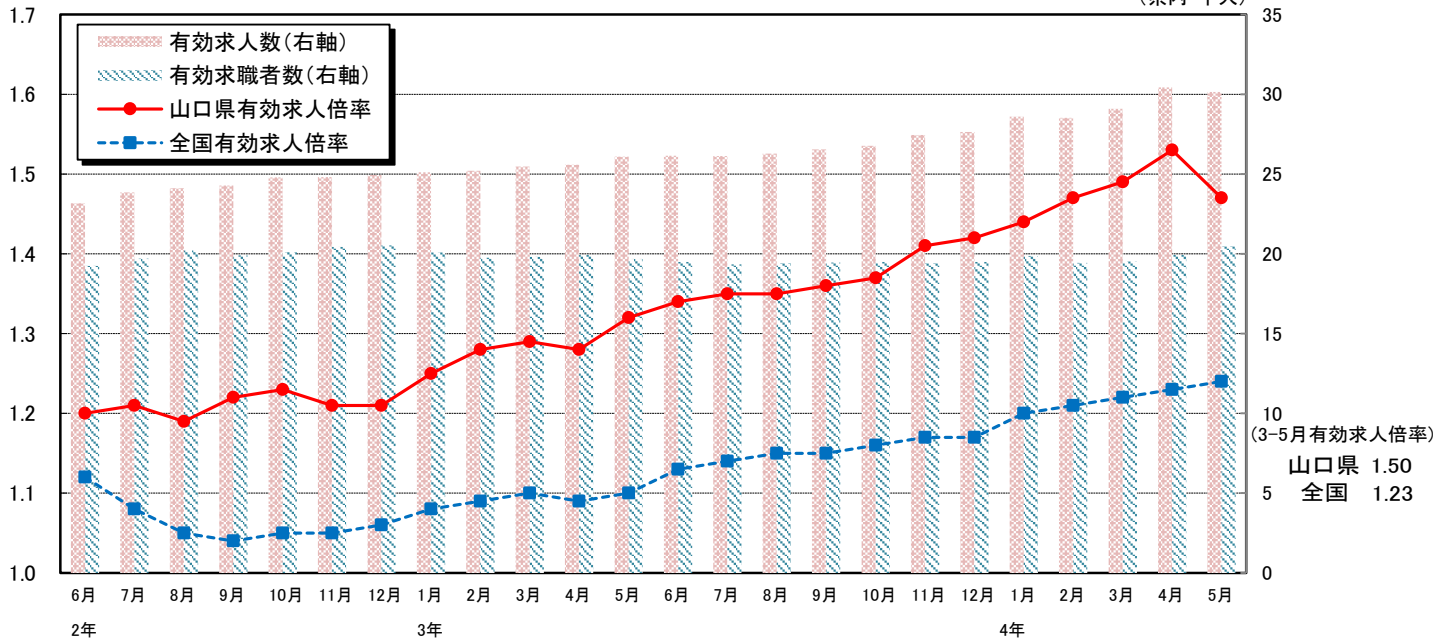
(資料出所: 山口県)

3. 雇用情勢 持ち直しつつある

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(倍)

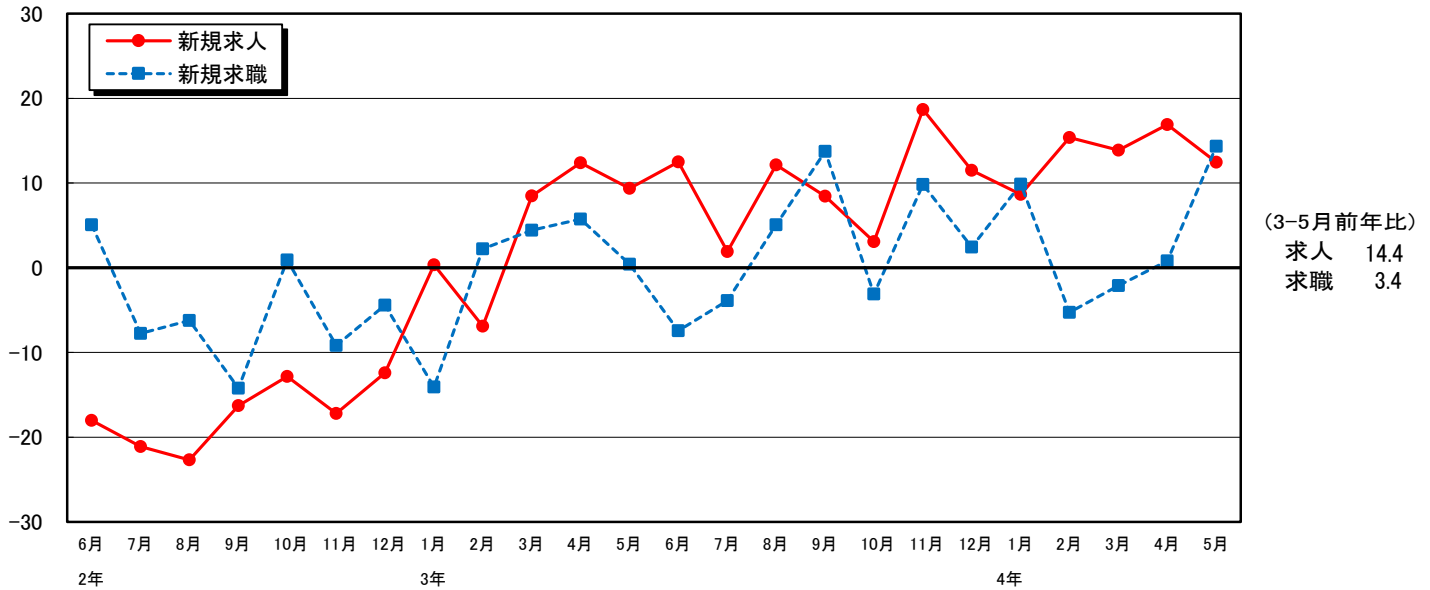
(県内・千人)



(資料出所: 厚生労働省、山口労働局)

(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比

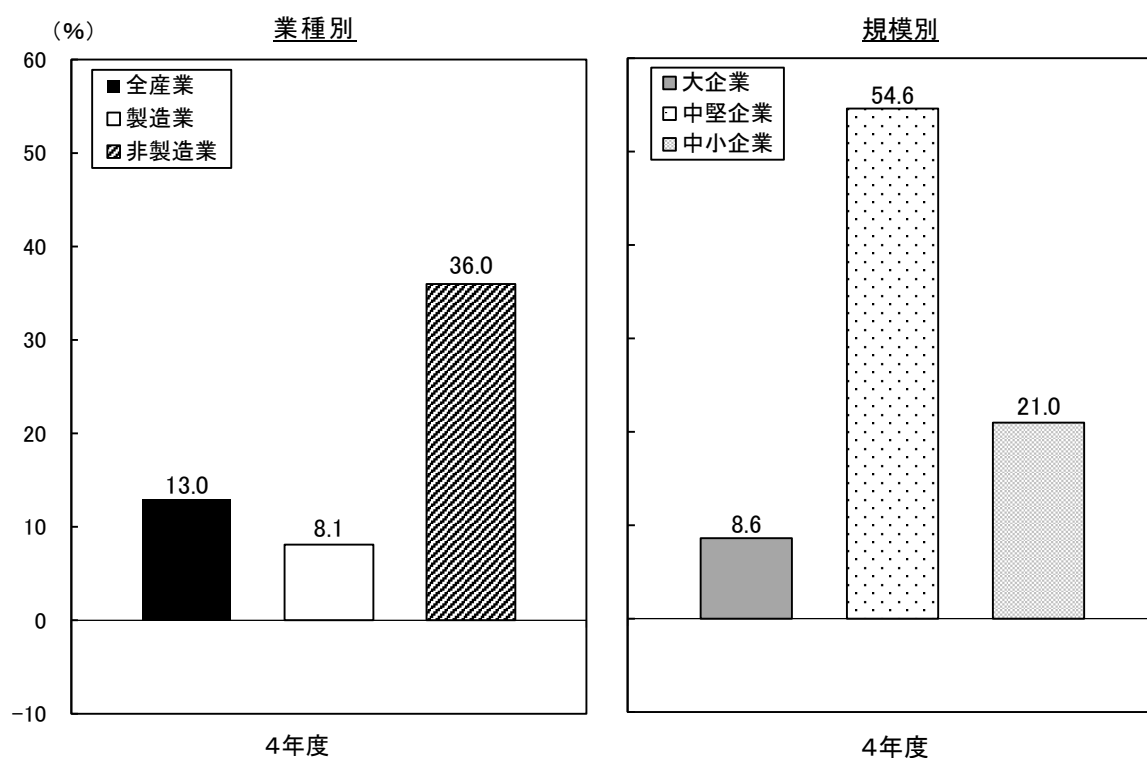
(%)



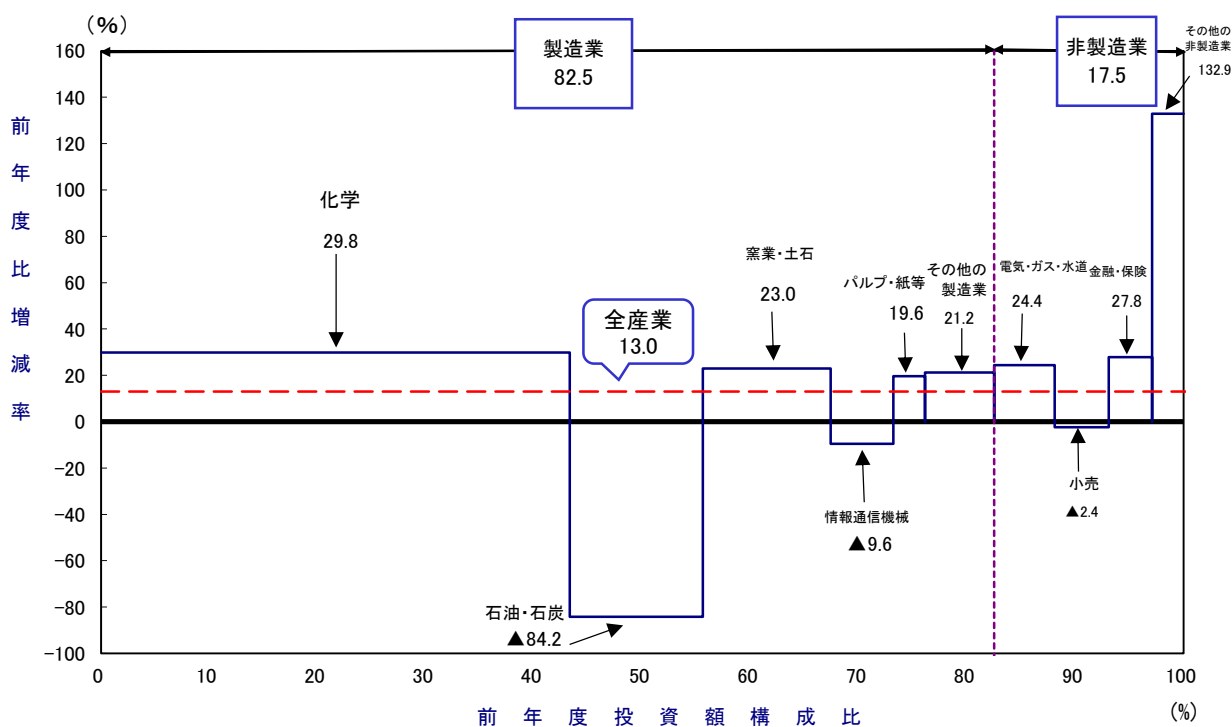
(資料出所: 山口労働局)

4. 設備投資 4年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



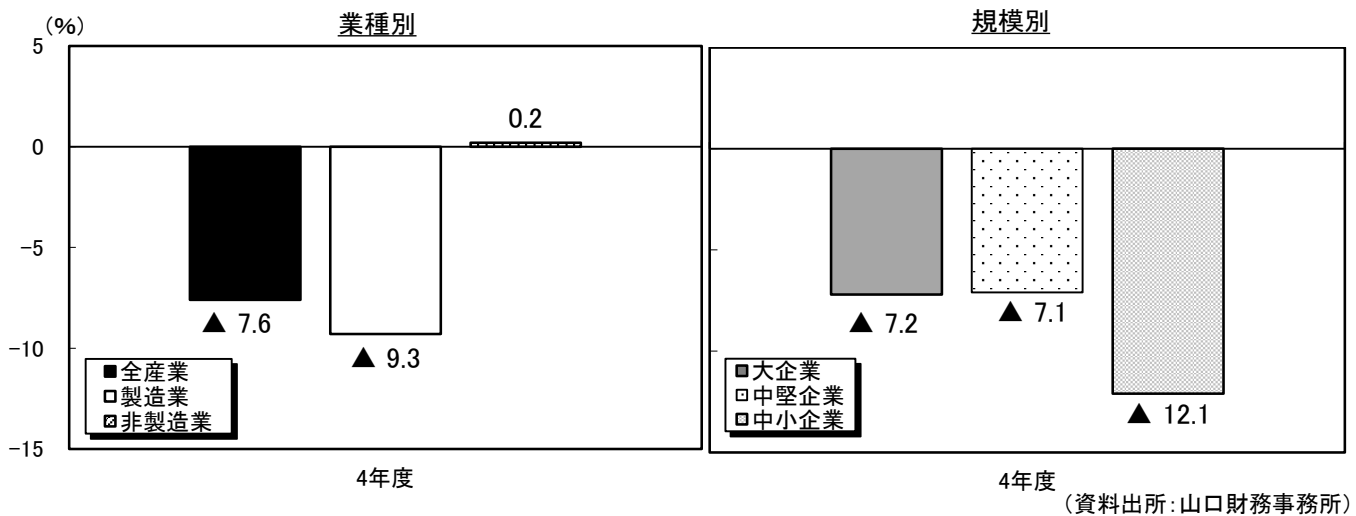
(2) 主要業種別(4年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

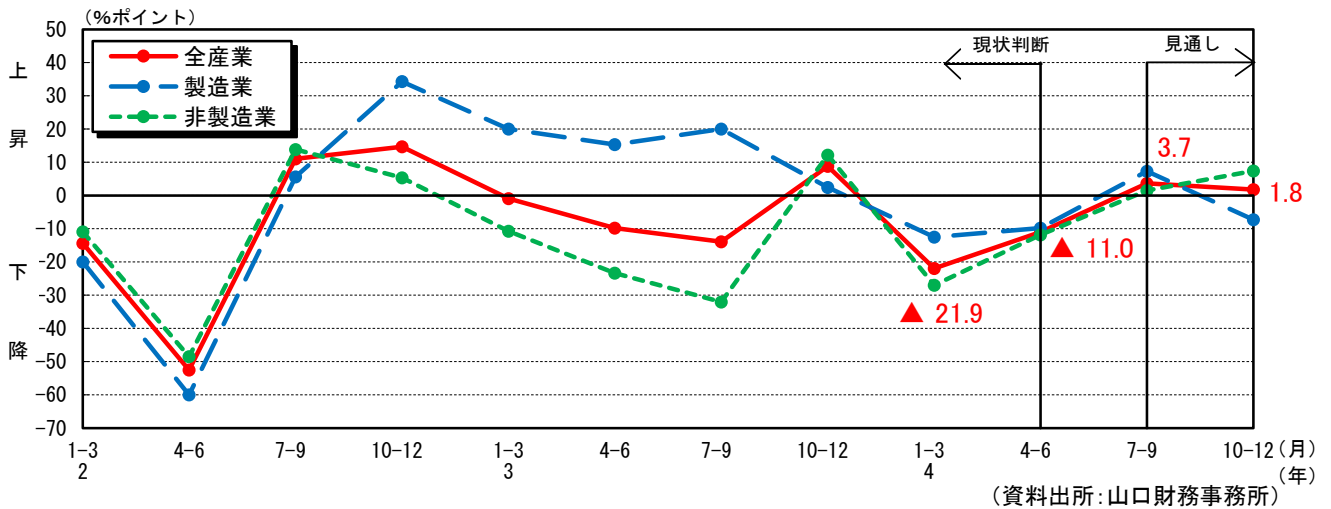
5. 企業収益 4年度は減益見込み

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



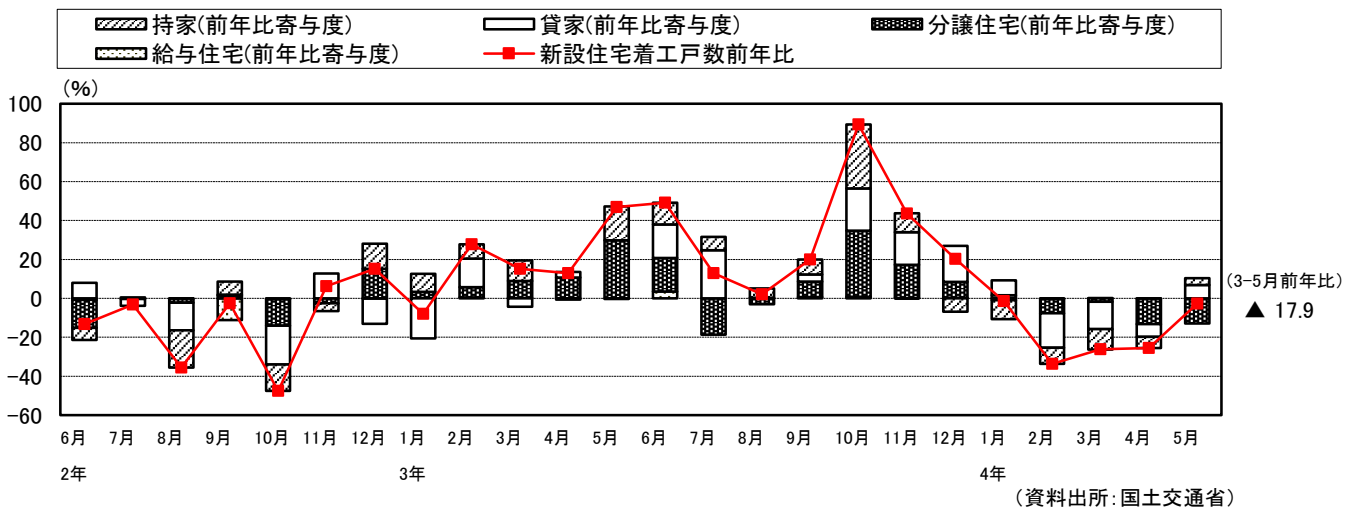
6. 企業の景況感 「下降」超幅は縮小

景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



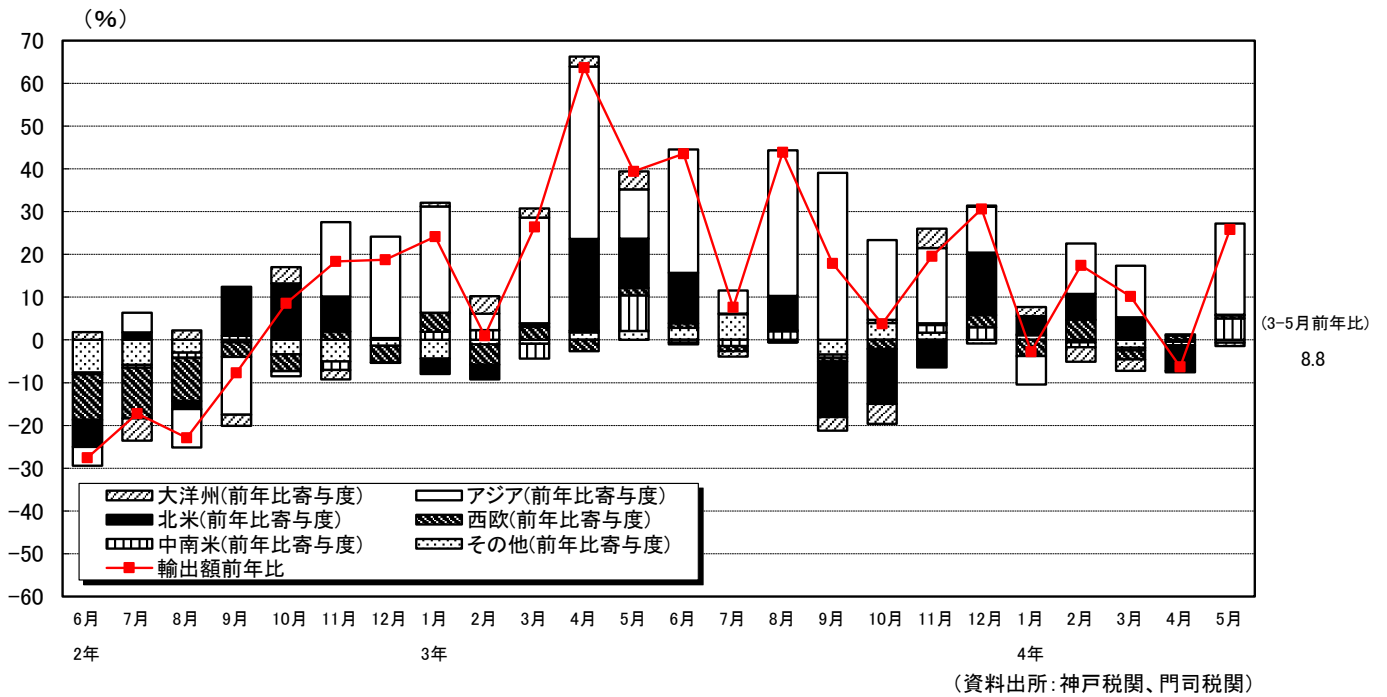
7. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



8. 輸出 前年を上回る

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

